学校番号	3033

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	「改訂版 高等学校 言語文化」（数研出版）						
副教材等	国語便覧（数研出版），古文単語 340＋漢文語彙 210 ダブルスタイル（尚文出版），読解をたいせつにする体系古典文法（数研出版），体系古典文法学習ノート（数研出版）精選漢文（尚文出版），精選漢文ノート（尚文出版），原色小倉百人一首（文英堂），新演習現代文アチーブ２（桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古典や文学的文章を読むことは，日本文化について学び，伝統を受け継ぎ，グローバルな世界で主体的に生きるための基礎的な素養を身につけることにつながります。「言語文化」ではさまざまな文章を読むことを通して，人間，社会，自然などに対する見方や考え方を深め，発展させていきます。
・「古文の世界」「漢文の世界」では，文章を正確に理解できるよう，語彙力や文法，句法の基礎知識を修得していきましょう。そのために，必ず予習をして主体的な姿勢で授業に臨み，授業の後には内容を振り返って復習してください。
・「古典から現代へ」では、文化の継承、発展、創造を支える働きが、言葉にはあることを理解しましょう。新たに学習する文章は，必ず自分で読み，語句の意味を辞書で調べること。「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めていきましょう。
・授業で扱った作品の異なる章段や，同じジャンルの作品，関心を持ったテーマについて主体的に調べたり，関連本を読んだりするなどして考えを深め，思考したことがらを的確な言葉で表現する力を身につけることに努めていきましょう。読書を通じて，自らの思考が深まり，新たな世界が開かれる喜びも味わってほしいと考えています。本校の図書館も大いに活用してください。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2)　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3)　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」，「読むこと」の各領域において，論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり，ものの見方，感じ方，考え方を深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，読書に親しむことで自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	古文の世界① 〈古典の世界に親しむ〉 ［教材］ 説話「児のそら寝」「絵仏師良秀」 文法等…歴史的仮名遣い，文語の動詞の基礎	a：古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。 c：人々が説話を伝えようとした理由を粘り強く分析し，学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	古典から現代へ① 〈フィクションの表現を探究する〉 ［教材］ 受け継がれる古文「羅生門」 探求の扉「今昔物語集」 ズームアップ　芥川龍之介と古典	a：文章の意味は，文脈の中で形成されていることを理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。 c：積極的に自らの作品世界を構築し，学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	古文の世界② 〈文章を手掛かりに作者の思いを読み取る〉 ［教材］ 随筆『徒然草』「丹波に出雲といふ所あり」「雪のおもしろう降りたりし朝」	a：古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価している。 c：文章について進んで考察し，学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	漢文の世界① 〈漢文に親しみ，漢語の成り立ちを理解する〉 ［教材］ 故事「狐借虎威」「朝三暮四」 句法等…訓点，再読文字，助字，置き字	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。 c：教材の内容に関心と親しみを持ち，これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	古文の世界③ 〈物語に表れた心情を読み取る〉 ［教材］ 歌物語『伊勢物語』「芥川」「東下り」「筒井筒」 文法…助動詞・助詞・敬語の基本	a：文章の意味は，文脈の中で形成されていることを理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。 c：進んで作品内容を解釈し，学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。 a：古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：粘り強く地の文と和歌の関係性を読み解き，今までの学習を生かして本文全体を解釈しようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題

後期	漢文の世界② 〈唐詩を鑑賞する〉 ［教材］ 漢詩 中国の詩	a：古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：粘り強く地の文と和歌の関係性を読み解き，今までの学習を生かして本文全体を解釈しようとしている。 a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。 c：教材の内容に関心と親しみを持ち，これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	古典から現代へ② 〈現代詩にこめられた作者の批判精神を読み取る。〉 ［教材］ 短歌，俳句	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。 c：教材の内容に関心と親しみを持ち，これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。 a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]：自分の知識や体験の中から適切な題材を決め，集めた材料のよさや味わいを吟味して，表現したいことを明確にしている。 c：学習課題に沿って，粘り強く鑑賞文の作成に取り組もうとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	古文の世界④ 〈代表的随筆から平安朝の宮廷生活や文化を理解する〉 ［教材］ 随筆『枕草子』「雪のいと高う降りたるを」「ありがたきもの」	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]：自分の知識や体験の中から適切な題材を決め，集めた材料のよさや味わいを吟味して，表現したいことを明確にしている。 c：学習課題に沿って，粘り強く鑑賞文の作成に取り組もうとしている。 a：古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：粘り強く本文の内容を読み解き，学習課題に沿って作者の機知や心情を理解しようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題

	漢文の世界③ 〈思想を伝える表現の工夫を読み取る〉 ［教材］ 思想 『論語』	a：古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：粘り強く本文の内容を読み解き，学習課題に沿って作者の機知や心情を理解しようとしている。 a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。 c：粘り強く本文の内容を読み解き，学習課題に沿って諸子百家の思想を理解しようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	古文の世界⑤ 〈背景を考えながら作品の視点を解釈する〉 ［教材］ 日記文学 『土佐日記』「門出」「帰京」	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもつことができている。 c：進んで作品内容を解釈し，学習課題に沿って文章にまとめようとしている。 a：古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。 c：旧暦や古時刻，旧国名といった古典常識について積極的に知ろうとして，文章理解を深めようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	古文の世界⑥ 〈語りの文体が表す臨場感に触れる〉 ［教材］ 『竹取物語』「なよ竹のかぐや姫」 『平家物語』「木曾の最期」 ズームアップ　和漢混交文	a：古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。 c：旧暦や古時刻，旧国名といった古典常識について積極的に知ろうとして，文章理解を深めようとしている。 a：古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。 c：積極的に本文の表現について分析し，学習課題に沿ってその効果を考察しようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題

	漢文の世界⑤ 〈思想を伝える表現の工夫を読み取る〉 ［教材］ 文章 「雑説」 ズームアップ　科挙	a：古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。 c：積極的に本文の表現について分析し，学習課題に沿ってその効果を考察しようとしている。 a：古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。 c：教材の内容に関心と親しみを持ち，これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞，書，読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（１０）時間

・読むこと　…　（６５）時間